第3回原案 2015/2/2

取扱説明書

Model S12

この度は、Caffitaly S12 をお求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用前に、必ず取扱説明書を最後までよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

目次

目次・・・

はじめに

この度は Caffitaly S12（以下本製品）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、専用のカプセルを高圧抽出、低圧抽出の2種類の抽出方法でエスプレッソやコーヒー、各種ドリンクを抽出するのに適しています。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

特に「安全上のご注意」はご使用前に必ずお読みください。

一般事項

以下に記載した原因による損傷については、責任を負いかねます。

●本来の目的に反した使用による場合

●修理が弊社指定のサービスセンターで行われなかった場合

●本製品のどこかを改造された場合

●オリジナルではないパーツや付属部品を使用した場合

●本製品の専用カプセル以外のカプセルを使用した場合

●除石灰作業を行わなかった場合

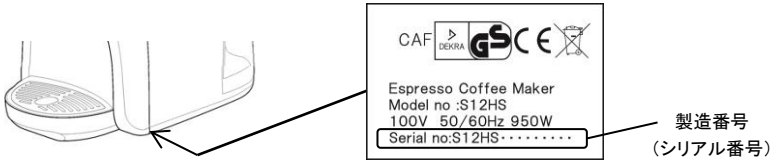
●本製品を0℃以下の環境で使用、もしくは保管された場合

これらの場合、保証は無効になりますので、あらかじめご了承ください。

使用者の安全の為に、警告および注意表示は全ての重要な注意点を示しています。
大きな傷害事故を避ける為、これらの注意書きをしっかり守ってください。

製造番号について

マシン本体底面に製造番号（シリアル番号）のシールを貼付しています。



シールは絶対に剥がさないでください。これらの表示内容は、サービスセンターにメンテナンスをご依頼される際に必要となる重要な情報です。

廃棄について

本製品に対する詳しいリサイクル情報については、地域の行政機関、ごみ処理業者、ご購入の販売店、または弊社にお問い合わせをお願いします。

取扱説明書の取り扱い方法

この取扱説明書は安全な場所に保管してください。

本製品を使用される全ての方が利用出来るようにしてください。

更に詳しい情報は弊社サービスセンター（P22 参照）にお問い合わせください。

後日参照の為、この取扱説明書はきちんと保管してください。

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

ここに示す注意事項は、本製品を正しく安全にご使用頂き、お使いになる人や周辺の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

●本製品をご使用になる前に、取扱説明書や同梱の印刷物を必ずお読みください。

●取扱説明書はすぐに取り出せるところに保管し、必要な時にお読みください。

●ご不明な点は、弊社サービスセンター(P22 参照)までご連絡ください。

誤った使い方で生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
注意	誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性または物的損害の発生が想定される内容です。

絵表示の例

	△ 記号は、「警告・注意」の内容です。 △ 記号の中や近くに具体的な注意内容が記載されています。
	⃠ 記号は、してはいけない「禁止」の内容です。 ⃠ 記号の中や近くに具体的な注意内容が記載されています。
	● 記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。 ● 記号の中や近くに具体的な指示内容が記載されています。

安全上の注意 （続き）

警告
分解・改造・修理
独自の改造・分解・修理は絶対にしないでください。 感電、ショート、発火の恐れがあります。
電源/コンセントについて
電源は「15A 125V」と記載されている壁面のコンセントから直接お取りください。
電源は交流 100V 50/60Hz をご使用ください。 それ以外の電源を使用されますと火災の原因になります。
コンセントは本製品のみ単独で使用してください。 タコ足配線すると火災の原因になります。
電源プラグ/電源コードについて
電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭き取ってください。 ショート、発煙、発火の恐れがあります。
電源プラグ、コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、はさみ込んだり、束ねたり、加工したり、重いものをのせたり、火気の近くで使用しないでください。コードが破損して感電、火災の原因になります。
濡れた手でプラグの抜き差しをしないでください。 感電する恐れがあります。
本体、電源プラグ、コードを水につけたり、水をかけないでください。 感電、ショートの恐れがあります。

安全上の注意 （続き）

電源プラグ/電源コードについて	
	電源プラグやコードが痛んだり、コンセントへの差し込みがゆるい時は使用しないでください。感電、ショート、発火の恐れがあります。
	使用していないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。 絶縁劣化による感電、漏電火災の原因になります。
使用中/使用後	
	お子様だけで使用したり、乳幼児の手の届くところで使用しないでください。 ヤケド、ケガの原因となります。
	使用中は、熱を帯びる部分（抽出口）に手やコードを触れさせないでください。 ヤケド、破損の原因となります。
	本製品を本来の使用目的以外には使用しないでください。 火災、故障の原因となります。
	万が一、異常が発生した場合には、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
注意	
設置場所	
	不安定な場所に設置しないでください。 ヤケド、破損の原因となります。
	水や火気の近く、壁や家具の近くで使用しないでください。 故障・破損の原因となります。壁や家具を傷め、変色変形の原因となります。
	高温ガス、電気コンロの上やオーブンの近くへ置かないでください。
	屋外では使用しないでください。

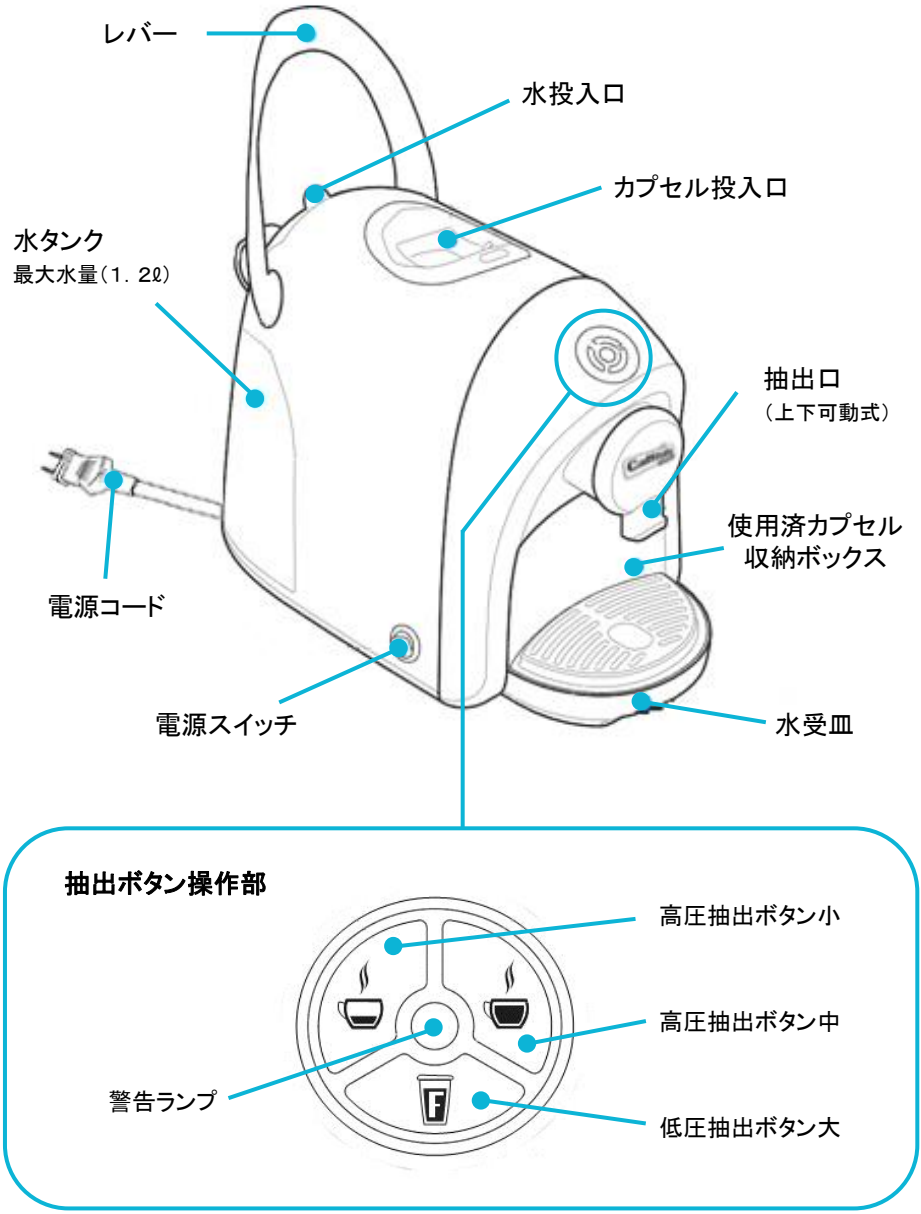
安全上の注意 （続き）

お手入れ	
	コンセントから電源プラグを外し、マシンが冷めてから行ってください。 ヤケドの原因となります。
	洗剤をご利用の場合は台所用洗剤を使用してください。クレンザーなどの研磨剤が入った洗剤は避けてください。故障・破損の原因となります。
	除石灰剤を用いた除石灰作業を定期的に行ってください。 除石灰作業を怠ると故障の原因となります。
	使用後は必ずお手入れをしてください。 お手入れを怠ると故障の原因となります。
その他	
	電源コードをテーブルやカウンターの縁から垂らさないでください。 ケガ、破損の原因となります。
	本製品に衝撃を与えないでください。

設置場所

・安定した丈夫で平らな所に設置してください。
・万が一水やドリンクがこぼれてもよい場所に設置してください。
・温度 10℃～40℃、湿度 90%以下の環境で使用してください。
・水のかかる場所には設置しないでください。
・火気のある場所、ほこりっぽい場所、オイルミストが浮遊する場所では使用しないでください。
・本製品を他の機器の上に設置しないでください。
・熱源の上に置かないでください。また熱源の近くに置く時は 10cm以上離してください。
・可燃物、危険物の近くに置かないでください。

各部の名称


レバー
水投入口
カプセル投入口
水タンク
最大水量（1．2ℓ）
抽出口
（上下可動式）
使用済カプセル
収納ボックス
電源コード
電源スイッチ
水受皿
抽出ボタン操作部
高圧抽出ボタン小
高圧抽出ボタン中
警告ランプ
低圧抽出ボタン大

抽出ボタンの表示について

3個のボタンが点滅している時

加熱中

3個のボタンが同時に点滅します。
点灯に変わったら準備完了です。

節電モード

最後に使用後**1時間**経過すると、自動で節電モードになります。3個のボタンが順番にゆっくり点滅します。
レバーを上げたり、いずれかの抽出ボタンを押すと加熱中に変わります。

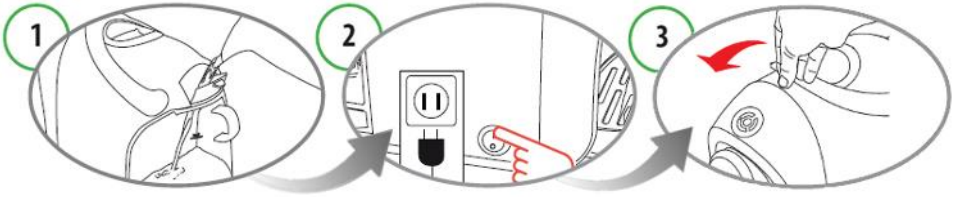
警告ランプについて

警告ランプが点灯・点滅した時は対処方法をお試しください。

光り方	症状／状態	対処方法
赤い点滅	水タンクの水がなくなった時。 ドリンクの抽出が極端に遅くなった時。(エスプレッソ用カプセルの抽出時に「低圧抽出ボタン大」を押した時など) ドリンクの抽出は不可。	空気抜き作業を行ってください。 (P11 空気抜き作業　参照) 注:カプセルが入っている状態の時、空気抜き作業をしても解除出来なければ、カプセルを捨てた後、再度空気抜き作業を行ってください。
赤い点滅	ドリンク抽出中にレバーを上げてしまった時。 ドリンクの抽出は不可。	レバーを下げて、抽出ボタンのいずれかのボタンを押してください。警告ランプは消えます。
黄色の点滅	除石灰作業のお知らせです。 ドリンクの抽出は可能。	除石灰作業を実施してください。 (P17～ 除石灰作業　参照)
赤い点灯	マシン内部に異常がある可能性があります。 ドリンクの抽出は不可。	電源を切って10秒後に再度電源を入れてください。それでも点灯する場合はお買い求めの販売店、または弊社サービスセンター(P22 参照)までお問い合わせください。

初めて使用する場合

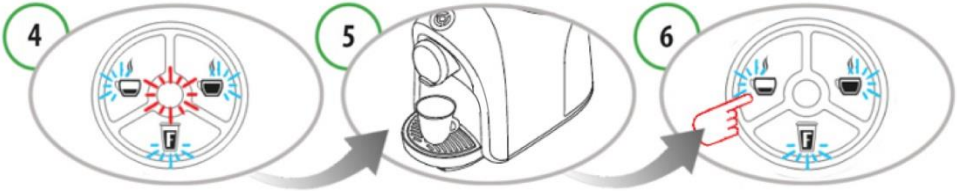
初めて使用する場合は、以下の手順を実施してください。



水タンクに新鮮な水を入れます。
※"MAX"ライン以上に水を入れないでください。

電源プラグをコンセントに差し込みます。
電源ボタンを" I "側に押して電源を入れます。

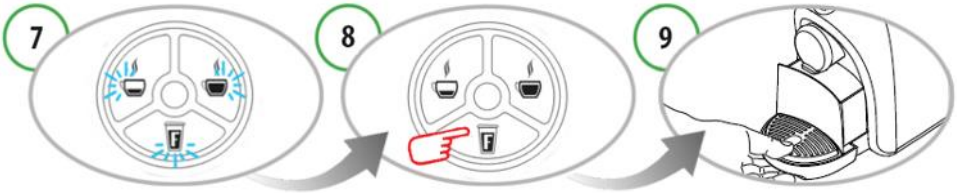
レバーを下げます。



3個のボタン全てと、警告ランプが点滅します。

抽出口の下にカップを置きます。

いずれかのボタンを1回押します。警告ランプが消えるまで抽出口より水が出てきます。



3個のボタが点滅から点灯に変われば抽出可能状態です。

「低圧抽出ボタン大」を1回押して抽出口からお湯を抽出させます。

使用済カプセル収納ボックスが空になっていることを確認して抽出準備完了です。

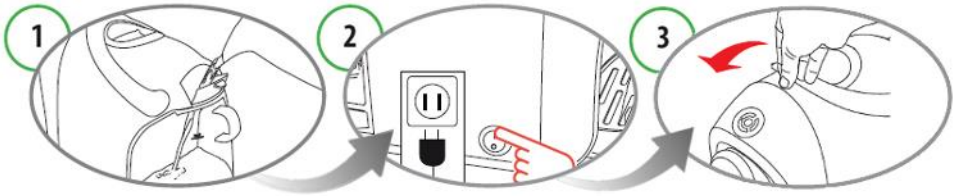
メモ

警告ランプが消えない場合は消えるまで**作業6**を繰り返します。

ご使用前の準備

すすぎ作業

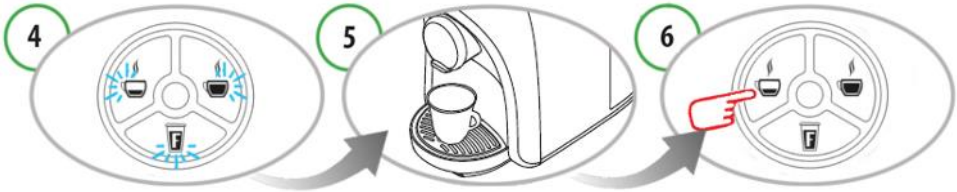
1日の使い始め、1日の終わり、カプセル種類の変更、マシン内部の温め時に行ってください。



水タンクに新鮮な水を入れます。
※"MAX"ライン以上に水を入れないでください。

電源プラグをコンセントに差し込みます。
電源ボタンを"1"側に押して電源を入れます。

レバーを下げます。



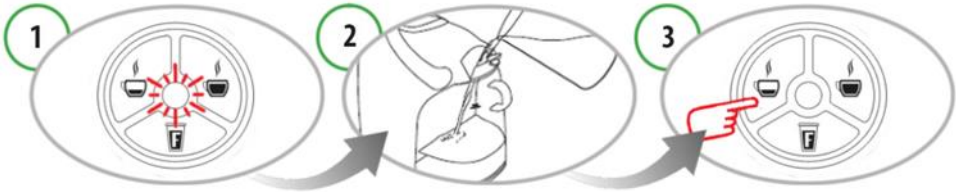
3個のボタンが点滅から点灯に変われば抽出可能状態です。

抽出口の下にカップを置きます。

「高圧抽出ボタン小」を1回押して抽出口からお湯を抽出させます。

空気抜き作業

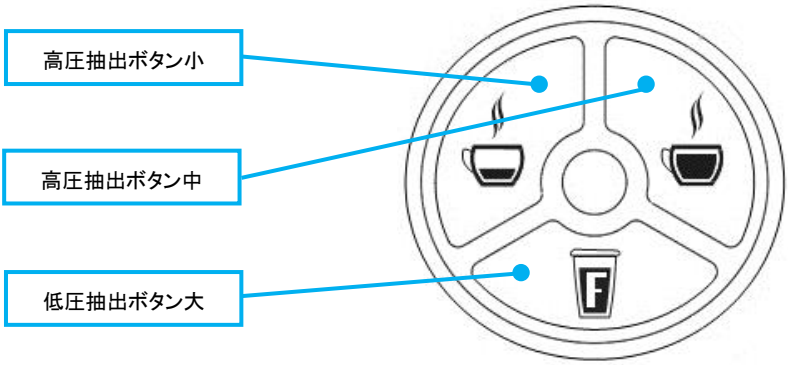
警告ランプが赤く点滅した時に行ってください。



水タンクに新鮮な水を入れます。
※"MAX"ライン以上に水を入れないでください。

「高圧抽出ボタン小」を1回押して抽出口からお湯を抽出させます。警告ランプが消えるまで繰り返します。3個のボタンが点灯したら抽出可能状態です。

抽出ボタンの選択方法



●高圧抽出ボタン小　●高圧抽出ボタン中

濃い味のコーヒーの抽出に最適なボタンです。お好みでその他のドリンクの抽出も可能です。

事前に蒸らす機能が付いています。（抽出が少し止まった後、再度抽出が始まります。）

●低圧抽出ボタン大

低圧で抽出するボタンです。マイルドな味のコーヒーの抽出に最適なボタンです。

お好みでその他のドリンクの抽出も可能です。（※除くエスプレッソ用カプセル）

注意　エスプレッソを抽出する際は、「低圧抽出ボタン大」は使用しないでください。圧力不足で抽出不可になる場合があります。

メモ　Caffitaly 専用カプセルのラベルに記載の抽出ボタンを参考にしてください。

メモ　抽出スピードは選択する抽出ボタン（高圧・低圧）、カプセルの種類の違いによって変わります。

抽出量の設定

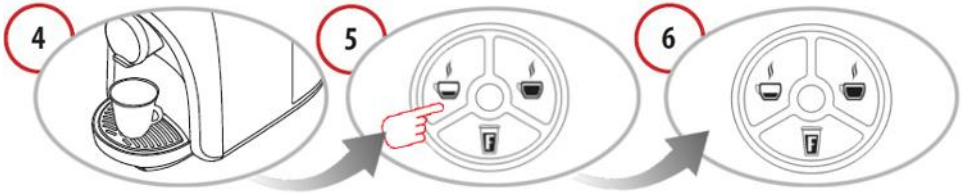
各抽出ボタンの抽出量はそれぞれ自由に設定変更が可能です。

お好きなカプセル（Caffitaly 専用カプセル）を用意します。

レバーを持ち上げます。

ラベル面を前にして
カプセルを入れます。

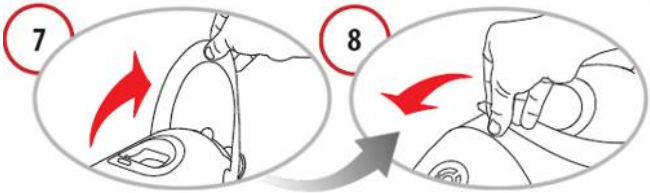
レバーを下げます。



カップを抽出口の下に
置きます。

設定したい抽出ボタンを**押し続ける**と**ピッ**と１回音がします。
そのままボタンを押し続けます。

設定したい抽出量になったらボタンから指を離します。設定が完了します。



ドリンクの抽出が完全に終わったことを確認します。レバーを持ち上げて使用済カプセルを落下させます。

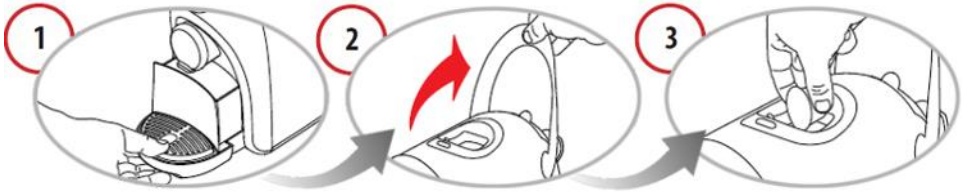
カプセルが落ちたことを確認してレバーを下げます。
※カプセルが落ちない場合は、次に抽出するカプセルを入れて前のカプセルを落とすか、指で直接カプセルを押して落としてください。

メモ Caffitaly 専用カプセルのラベル記載の抽出方法の抽出量を参考にしてお好みで設定してください。

メモ カプセルの違い、抽出ボタン（高圧・低圧）によって出来上がりの抽出量が変わります。エスプレッソは他のカプセルより出来上がりの抽出量が少なくなります。

ドリンクを抽出する

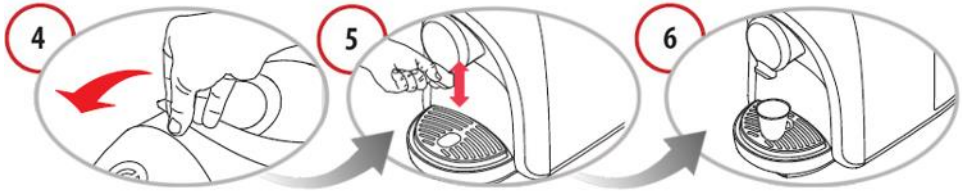
お好きなカプセル（Caffitaly 専用カプセル）を用意してください。



使用済カプセル収納ボックスが満杯になっていないことを確認します。

レバーを上げます。

ラベル面を前にしてカプセルを入れます。



レバーを下げます。

抽出口の高さを使用するカップに合わせて調節します。

カップを抽出口の下に置きます。

選択したカプセルに適した抽出ボタンを1回押します。

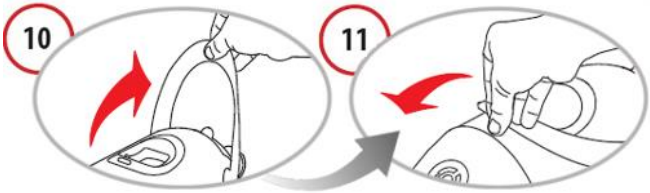
押したボタンが点滅し抽出がスタートします。抽出中は押したボタンの点滅が続きます。

設定された湯量が抽出されると抽出が止まります。ボタンの点滅が消え、全てのボタンが点灯します。

メモ

Caffitaly 専用カプセルのラベルに記載の抽出ボタンを参考にしてください。

ドリンクを抽出する （続き）



ドリンクの抽出が完全に終わったことを確認します。レバーを持ち上げて使用済カプセルを落下させます。

カプセルが落ちたことを確認してレバーを下げます。
※カプセルが落ちない場合は、次に抽出するカプセルを入れて前のカプセルを落とすか、指で直接カプセルを押して落としてください。
（※指の挟みこみ注意）

メモ 抽出中に点滅中のボタンを再度押すと、抽出を途中で止めることが出来ます。

メモ 追加で抽出量を増やしたい時は、カプセルを落下させる前に再度ボタンを押して適量になった時点でボタンを押して抽出を止めます。

メモ コーヒーから紅茶、紅茶からコーヒー等、ドリンクの種類を変える時は味が混ざらないようすすぎ作業をお勧めします。（P11　すすぎ作業　参照）

日常のお手入れ

1日の終わりに必ず実施してください。

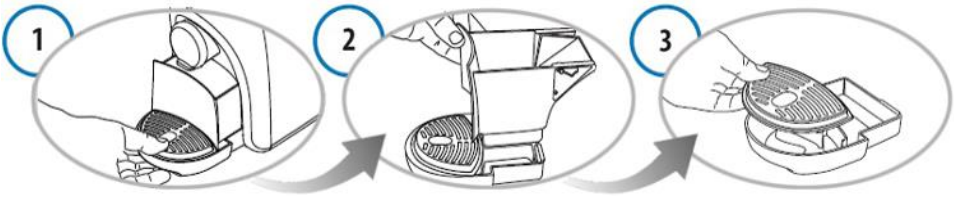
■ カプセル投入口にカプセルが残っていないことを確認します。

■ すすぎ作業を実施します。(P11 すすぎ作業　参照)

各部品を取り外してお手入れしてください。

注意　コンセントから電源プラグを外し、マシンが冷めてから行ってください。
ヤケドの原因となります。

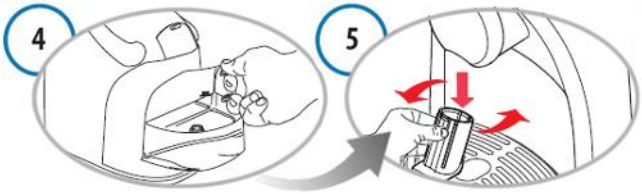
注意　食器洗浄機、食器乾燥機、熱湯、研磨剤が入った洗剤などは使用しないでください。変形・破損の原因になります。



抽出口をいちばん上に上げてから水受皿を取り出します。

使用済カプセル収納ボックスを持ち上げて使用済カプセルを捨てます。

水受皿と使用済カプセル収納ボックスを水洗いします。
※汚れがひどい場合は台所用洗剤を使用してください。



水タンクを取り外して水洗いします。

抽出口を一番下に下げ、横にひねりながら、さらに引き下げて取り外します。取り付けは、まっすぐ上に強めに差込みます。
※汚れがひどい場合に取り外して水洗いしてください

全ての部品を洗い終えたら、乾いた布巾で水気を取り除き、自然乾燥させてマシンにセットします。

マシンの外装は固く絞ったやわらかい濡れ布巾で拭きます。汚れがひどい場合は少量の台所用洗剤をつけた布巾で拭いた後、濡れ布巾で拭きあげてください。

除石灰作業

本製品を使用していると内部部品のボイラーに、水に含まれる石灰成分が付着します。
そのまま使用すると加熱不良や抽出不良などの故障の原因となります。
警告ランプが黄色く点滅したら、なるべく早めに除石灰作業を実施してください。

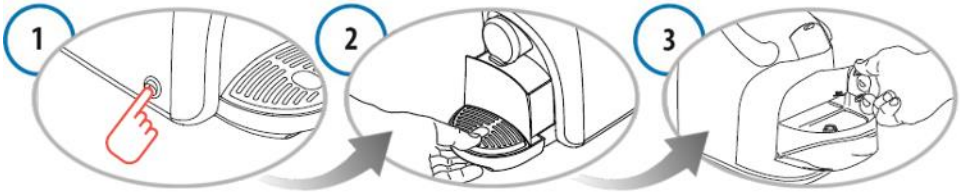
作業時間　約 30 分

注意　保証期間内でも除石灰作業を実施していない場合は、保証の対象にはなりません。除石灰剤　MEL−F2000 を使用して作業してください。

注意　除石灰作業は作業の途中で中止することが出来ません。
最後の工程まで必ず実施してください。

注意　除石灰剤として、酢は絶対に使用しないでください。
故障の原因になります。

メモ　除石灰剤には、必ずコーヒーマシン専用の MEL-F2000 を使用してください。
除石灰剤のご購入は、マシン購入先にお問い合わせください。

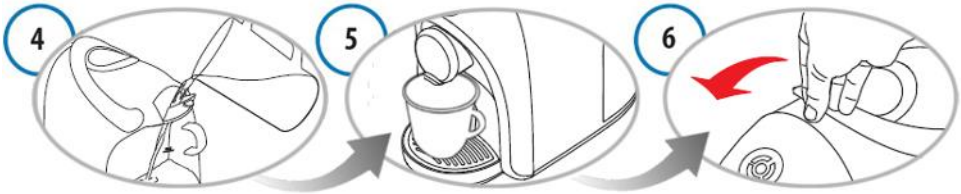


1 電源を切ります。

2 水受皿とカプセル収納ボックスの中を空にします。

3 水タンクを空にします。

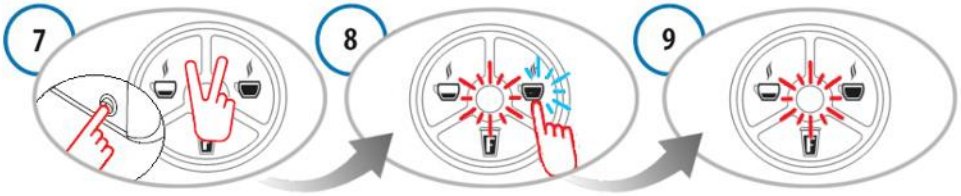
除石灰作業 （続き）



水タンクに水を約800cc、除石灰剤（MEL-F2000）を1本（約180cc）入れます。

抽出口の下に500cc以上入る大きさの容器を置きます。

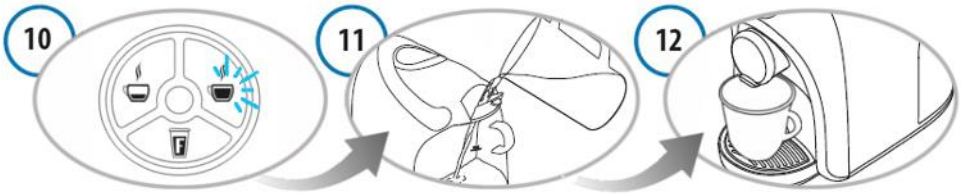
カプセルがないことを確認してレバーを下げます。



「高圧抽出ボタン小」と「高圧抽出ボタン中」を同時に押しながら電源を入れます。
ピッと音がして警告ランプが黄色と赤色交互に点滅、「高圧抽出ボタン中」が点灯します。

「高圧抽出ボタン中」を押すと除石灰プログラムがスタートします。抽出口から約450cc排出されます。排出が止まったら、容器にたまった洗浄液を捨て、再度抽出口の下に置きます。

その後、約4分ごとに合計4回洗浄液が排出されます。
4回目の排出後に**ピッ**と音がします。
※除石灰中は警告ランプが黄色と赤色交互に点滅します。

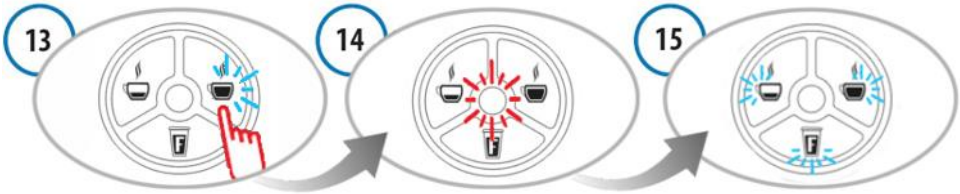


プログラム開始から25分経過すると**ピッ**と音がして「高圧抽出ボタン中」が点灯します。
※その際、水タンクはほぼ空になっています。

水タンクを取り外し、十分にすすいだ後、新鮮な水を水タンクの半分以上入れます。

容器にたまった洗浄液は捨てて、抽出口の下に置きます。

除石灰作業 （続き）



「高圧抽出ボタン中」を押します。
抽出口から水が出てきて、すすぎ作業が始まります。

約400cc排出されます。
※すすぎ中は警告ランプが黄色と赤色交互に2回点滅します。

すすぎが終わると除石灰プログラムは終了です。

3個のボタンが点滅から点灯に変われば抽出可能です。

注意 除石灰作業は作業の途中で中止することが出来ません。
最後の工程まで必ず実施してください。

メモ 除石灰剤には、必ずコーヒーマシン専用の MEL-F2000 を使用してください。
除石灰剤のご購入は、マシン購入先にお問い合わせください。

●除石灰剤（別売品）

MEL-F2000　180ml

自然に優しいコーヒーマシン専用除石灰剤です。

天然金属酵素製で除石灰力、リンス性能に優れ、再石灰化を予防します。

※お求めは販売店にご相談ください。

故障かな？

修理をご依頼になる前にお読みください。

こんなときは	原因は？	お試しください
レバーを上げてもカプセルが落ちない。	カプセル投入口内部でカプセルが引っかかっている。	次に抽出するカプセルを入れて前のカプセルを落とすか、指で直接カプセルを押して落としてください。（※指の挟みこみ注意）
	使用済カプセル収納ボックスにカプセルが満杯になっている。	使用済カプセル収納ボックスを空にしてください。
警告ランプが赤く点滅する。	エスプレッソ用のカプセルを「低圧抽出ボタン大」で抽出した。	「高圧抽出ボタン小」か「高圧抽出ボタン中」を数回押してください。 警告ランプが消えない場合は、レバーを上げてカプセルを捨てた後、空気抜き作業を繰り返してください。（P11 空気抜き作業 参照）
	水タンクが空になった。 水タンクが奥までセットされていない。	水タンクに新鮮な水を補充してマシン本体にしっかりと押し込んでセットしてください。 水なし警告ランプが消えるまで空気抜き作業を繰り返してください。（P11 空気抜き作業 参照）
抽出中に大きな音がする。	水タンクの水が空になりかけている。	点滅している抽出ボタンを押して抽出を中止してください。水タンクに新鮮な水を補充してから再度抽出ボタンを押し、適量になった時点で、点滅しているボタンを押して抽出を止めてください。
抽出温度が低い。	カップが冷えている。	あらかじめカップを温めてください。
	マシン内部が冷えている。	すすぎ作業をしてマシン内部を温めてください。（P11 すすぎ作業 参照）
	ボイラーに石灰成分が付着している。	除石灰作業を実施してください。（P17～ 除石灰作業 参照）

故障かな？ （続き）

こんなときは	原因は？	お試しください
抽出量が設定した量より少ない。	抽出量の設定が変更された。 ※使用するカプセルの種類、抽出ボタンの違いによって湯量は変わります。	抽出量を再設定してください。 （P13 抽出量の設定 参照）
コーヒーの抽出スピードが極端に遅い。	エスプレッソ用のカプセルを「低圧抽出ボタン大」で抽出した。	「高圧抽出ボタン小」か「高圧抽出ボタン中」を押してください。
除石灰作業が終わらない。	最初に水タンクに入れる洗浄液入りの水の量が少なすぎる。または、多すぎる。	適切な洗浄液の量で作業してください。 （P17～ 除石灰作業 参照）
何もしていないのに抽出口から多少のお湯が出る。	抽出後に加熱中の時はボイラーから不定期にお湯が排出されることがあります。異常ではありません。	
レバーが下がらない。	使用済カプセルで収納ボックスがいっぱい。	収納ボックスを空にしてください。
警告ランプが赤く点灯する。	マシン内部に不具合が発生している可能性があります。	電源を切って10秒後に再度電源を入れる。それでも点灯する場合はお買い求めの販売店または弊社サービスセンター（P22 参照）までお問い合わせください。

異常が生じた場合は、直ちに使用を中止して、電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。上記の点を確認し、それでも正常に機能しないときは、弊社サービスセンターまでお問い合わせください。（P22 参照）

保証とアフターサービスについて

保証書

- 本製品には保証書を別途添付しております。
- 必ず保証書の記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。
  「お買い上げ年月日、お客様名、販売店名」が確認出来ない場合は保証の対象外になりますのでご注意ください。
- その他、保証に関しての詳しい内容は保証書をご覧ください。

保証期間：お買い上げの日から1年間です。

補修用部品の保有期間について

- 補修用部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品を指します。
- 本製品の補修用部品保有期間は、製造打ち切り後、**5年**です。
- 保有期間経過後も部品を保有している場合がございますので、お問い合わせください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- ご不明な点や、修理に関するご相談は下記へご連絡ください。
- （P20~P21　故障かな？） の記載を事前に確認していただき、なお異常がある時は使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いて下記へご連絡ください。
- 修理をご依頼になる場合は、お手数をおかけいたしますが、本製品を梱包していただき、不具合状況を記載したメモを同封して宅配便等で下記までお送りください。
  （お送りになる場合の梱包代・送料等はお客様のご負担でお願いします。）

フジ産業株式会社　三郷センター
〒341-0044
埼玉県三郷市戸ヶ崎1丁目105
TEL 048-949-2888　　FAX 048-949-4141

製品仕様

製 品 名 称		カフィタリー S12
定格	電圧／周波数	AC100V／50/60Hz
	消費電力	950W
外 形 寸 法		幅 170 ㎜ × 高さ 260 ㎜ × 奥行 320 ㎜
製品重量		約 4kg
電源コードの長さ		約 1,100 ㎜
水タンク容量		1.2ℓ／取り外し可能
抽出量		約 20cc～約 250cc
使用済カプセル収納容量		最大 10 カプセル
ポンプ圧力		最大 15 気圧
温度過昇防止装置		有
圧力安全弁		有

改良のため、仕様および性能の一部を予告なく変更することがあります。
あらかじめ、ご了承ください。

メモ

メモ

メモ

フジ産業株式会社

本　　社　〒104-0041 東京都中央区新富 1-6-1
TEL 03-3523-1811 FAX 03-3523-1812

三 郷 セ ン タ ー　〒341-0044 埼玉県三郷市戸ヶ崎 1 丁目 105
TEL 048-949-2888 FAX 048-949-4141

改良のため、製品の仕様・機能を予告なく一部を変更することがありますのでご了承ください。